

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成29年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州国際技術協力協会
-----	--------------------

所管課	環境局 環境国際戦略課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>北九州地域に長年にわたって蓄積された広範な環境技術・産業技術と、環境改善の実績を基に様々なツールを活用して、開発途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、こうした公益事業（国際貢献）を通じて地域の経済発展及び世界の環境首都の都市ブランドの確立に寄与する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>本市及び市内企業等に蓄積された産業技術を基に、海外諸都市の「産業」と「環境」の調和を目指した持続的な発展に寄与するため、今後も、海外からの研修員の受け入れや海外でのものづくりサポートなどの国際技術協力事業を積極的に推進する。 また、同団体が有する国内外のネットワークを活用し、本市及び関係機関等と連携を深め、国際協力さらには国際ビジネスを推進することにより、国際貢献、産業開発と環境保全の調和を目指す。</p>

ミッションに基づく中期計画							
3～5年後に目指す状態	開発途上国の持続可能な発展に貢献するとともに、本市の経済発展及び環境首都としての都市ブランド確立に寄与するため、研修員の受け入れ及び国際技術協力を積極的に継続する。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H28実績	H29		H30	H31	H32	H33
		目標	実績	目標	目標	目標	目標
研修員受入数（累計）	8,676人	8,600人	9,083人	8,900人	前年度実績以上		
技術協力件数 （平成23年度以降累計）	73件	81件	83件	91件			
国際人材情報データベース登録者数 （平成24年度以降累計）	2,434人	2,450人	2,747人	2,700人			

ミッションの遂行状況の評価（平成29年度）			
団体における評価	<p>研修員受入数については、目標を上回ることができた。しかしながら受託研修日数が短縮化傾向にあり、当法人の収益に影響を及ぼしている。技術協力件数については目標を上回り、さらに翌年度以降に結びつく事業にも着手し、着実に成果につながっている。またデータベース登録者数についても順調に伸びている。</p>	市の評価	<p>研修員受入人数、技術協力件数、国際人材情報データベース登録者数の3成果指標すべてにおいて、当初の目標を達成できており、団体の取組みが成果をあげることができたと評価している。</p>
今後の課題及び見直し内容（案）	<p>研修事業については、市やJICAと連携しながらコースの数、人件費単価、研修日数の改善などについて協議を進めていく。また、新たな研修コースの受託に向けた課題の抽出と現地ニーズの掘り起こしに、これまで以上に努めていく。技術協力事業については、目標件数を9件から10件に増やし、KITAの収益に貢献すべく市内企業の海外進出に向けたコンサルティング業務等をさらに強化していく。</p>	団体への改善指導内容（案）	<p>引き続き、積極的な研修員受入や技術協力を実施していくよう指導・調整を行っていく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	－
<p>市やJICA、IGES、JETROなどの関係機関と積極的に連携を取りながら事業を進め、すべての成果指標について目標を上回ることができた。研修日数の短縮化などJICA内部の事情が当法人に影響を及ぼす問題についても、現在連携を図りながらより良い方向を目指して検討している。また、今年度はコンサルティング業務ほかの事業において、民間企業との協働による事業についても積極的に推進した。</p>	